

ていただくなど、いままで多くはなかったご依頼が増えてきています。それらの大変重要なことを私を信頼してご依頼していただき、法的な側面から関与させていただくわけですから、責任も重大ですし、また大変嬉しく感じます。お客様に安心していただき、喜んでいただくように全力を尽くしたいと思っています。

*これは余談ですが、「お客様のために」という表現を公明正大に使用することは、個人的に少々違和感を覚えるんです。ひねくれたというか穿った考え方もかもしれませんが、お客様が喜んでくださると自分も嬉しいわけですから、つまるところ自分のためにもやっていると私は思います。「自分の喜びのためにお客様に喜んでもらう」という意識はないですが、かといって「お客様のために」と声を大にして言うこともしません。お客様に喜んでいただくようにご依頼に全力で取り組みますし、その結果喜んでいただいても自分も嬉しいという感覚です。誤解を招きかねないので、あくまで余談ですが・・・

林さんの魅力を最大限に引き出す！

ここまで読んで頂いた方ならおわかりかと思いますが。。。林さんは真面目です、しかも大真面目です(笑)。これだけのオトコマエで真面目で自分で開業され頑張っていて、しかも優し

い！残念ながらボクには何の勝ち目もありませんね・・・司法書士はどうあるべきか？林英伸はどうあるべきか？を常に自問自答している、だからすごく若いものにも拘わらず真理を捉え、すごく落ち着かれています。

初めてイルサルトにお越し頂き色々なお話をさせて頂く中で林さんのスタイリングを作り上げていくキーワードは

誠実、丁寧、品の良さ

だから偉そうに見えたり、威圧感を与えるのは×。そして逆にあまり若々しく見えすぎる物も軽く見られてしまいますので×。堅すぎる物や目を引きすぎたりする物、そしてあまりにトレンドを追った物だと林さんの良さをなかなか出し切れません。そして林さんからもう一つリクエストが有ったんです、それは・・・膝幅と裾幅をほぼ同一にし、フレアががかってみえるようなシルエットのパンツにして欲しい！何となく林さんの魅力を最大限に引き出すスタイリングの方向性が決まってきました。

林さんの一番の長所は何か？

お客様のスーツを作らせて頂く時には色々なお話をお聞きします。仕事に對する想いとか、今後どうなっていきたいのか？とか、そんなお話をお聞きした上でその方のキャラ、在り方、そして外見に一貫性を持たせていく、そんな風に組み立てていきます。なので似合う似合わないやトレンドなんかは

あまり考えないんです。似合う似合わないは個人の主観なのである人は似合うと言うけどある人は似合わないと言う、それくらい曖昧な物なんです。ボクが感じた印象が間違っていないか、周りからどんな風に言われるのか？林さんにも改めて色々聞いてみました。すると林さんからはこんな答えが返ってきました。

仕事面では、作成する資料などを見た方が、几帳面で丁寧だと言っていたことがあります。読まれるお客様にわかりやすく感じていただけるところに作成するよう心がけています。自分で思う長所はコツコツやることです。瞬発力を発揮するタイプより持久力のタイプだと思います。このお話を聞いてなるほど！と思います。

ました。やはり林さんの長所は徹底的に他人目線を持つ事が出来る所、他人が自分に求めている事を的確に捉えることが出来る所なんだとボクは思っています。自分主体ではなく、如何に他人のお役に立てるのか？を常に考えている、だから上に書いた様に「お客様の為に」という表現に違和感を感じられないのだと思います。

そんな林さんの魅力を引き出すには自己主張の強すぎる物は×、かといって無難な物だと印象にさえ残す事が出来ません。仕事に對する自信やプライドを感じさせ、誠実、丁寧、品の良さといった印象を与える事が出来る。これが林さんのスタイリングを決定づけるキーワードと決め林さんのスタイリングを作っていました。

